

科目責任者 野澤 玲子(臨床薬剤学研究室)

■ 教育目的

がん(悪性腫瘍)の病態を把握し、病態に応じたがん化学療法、緩和ケア療法に関する最新の知見を学び、がん治療(支持療法・栄養療法を含む)における薬剤師の役割を理解する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②・③】

■ 学習到達目標

1. がん(悪性腫瘍)の疫学、病因、病態について説明できる。(知識・技能)
2. 代表的な悪性腫瘍に対する薬物療法、がん医療におけるチーム医療について説明できる。(知識・技能)
3. 支持療法、栄養療法の概念と基本的事項について概説できる。(知識・技能)

■ 準備学習(予習・復習)

予習：病態生理学・薬理学を基に、該当項目に関する予備知識を得、必要に応じてノートを作成する(30分)。復習：講義プリントに則して、内容を復習するとともに、関連事項について興味を持ち知識を深める。(60分以上、適宜)

■ 授業形態

課題解決型学習、講義

■ 授業内容

本講座は、大きく3部門に分かれており、悪性腫瘍に対する医療(非薬物治療・薬物治療)の概要と主な治療法、次に支持療法及び輸液・栄養療法に関する知識を習得する。更に、緩和ケア療法の概念、あり方、治療の実際を学ぶ。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	悪性腫瘍総論 1	がん化学療法総論(含、疫学、臨床検査値の解釈)	E2(7)-⑦-1～3 E2(7)-⑧-4 E2(7)-⑩-1
2	悪性腫瘍 1	胃癌、食道癌、肝・胆道系癌、膵臓癌	E2(7)-⑧-8
3	悪性腫瘍 2	大腸癌、腎・尿路系悪性腫瘍	E2(7)-⑧-8、12
4	悪性腫瘍 3	肺癌(非小細胞癌、遺伝子変異に基づいた個別化治療)	E2(7)-⑧-9
5	悪性腫瘍 4	肺癌(小細胞癌)、頭頸部癌、脳腫瘍	E2(7)-⑧-9,10
6	悪性腫瘍 5	乳癌、生殖系(前立腺癌・子宮癌・卵巣癌)悪性腫瘍	E2(7)-⑧-11・13
7	悪性腫瘍 6	造血器腫瘍 1(白血病、悪性リンパ腫)	E2(7)-⑧-5,6 E2(8)-③-3
8	悪性腫瘍 7	造血器腫瘍 2(多発性骨髄腫)、骨肉腫	E2(7)-⑧-7
9	悪性腫瘍 8	抗悪性腫瘍薬の副作用軽減対処法(支持療法)	E2(7)-⑧-3
10	輸液・栄養 1	栄養療法の概念と基本的事項	F(3)-③-5、6
11	輸液・栄養 2	栄養療法の実際	F(3)-③-5、6
12	緩和ケア 1	がん疼痛の分類・機序、痛みの評価 麻薬性鎮痛薬と WHO 方式三段階除痛ラダー	E2(7)-⑨-1 E2(1)-③-2
13	緩和ケア 2	WHO 方式がん疼痛治療法の実際	E2(7)-⑨-2
14	緩和ケア 3	オピオイドの副作用とその対策	E2(7)-⑨-2
15	緩和ケア 4	鎮痛補助薬、緩和における症状管理	E2(7)-⑨-1、2

■ 授業分担者

野澤 玲子(No.1、12～15)外部講師(No.2,6)、鈴木 俊宏(No.3～5)、安 武夫(No.7～11)

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

出席状況・授業態度(10%)、および試験(90%)で総合評価を行う。

■ 教科書

講義プリント、『緩和医療薬学』加賀谷肇 編著(京都廣川書店)

■ 参考書

胃癌、大腸がん、乳がん、造血器腫瘍、制吐剤適正使用、等各診療ガイドライン
日本緩和医療学会 各ガイドライン(<https://www.jspm.ne.jp/guidelines/>)